

さらなる売上向上を図るため建て替え 3月27日（土）タカラスタンダード青森支店新装

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、青森支店を建て替え、2021年3月27日（土）より業務を開始します。



（完成間近の青森支店/2021年2月撮影）

タカラスタンダードは、1975年に青森出張所を開設し、以来50年近く地域に根差した営業活動を行ってきました。青森市役所に隣接しているという立地柄、地元の皆さまに馴染み深く感じていただいている支店です。また、業界では唯一青森県内に3カ所の営業拠点（青森、弘前、八戸）を置き、各エリアに密着した営業活動を実施することで、県内における売り上げの拡大を図ってきました。今後、さらなる営業力強化を図るため、2019年9月から建て替え工事を開始。この度新社屋が完成し、ユーザーの皆さまだけでなく、得意先の皆さまにとっても身近で使い勝手よくご利用いただける支店として、3月27日（土）より以前と同じ場所で新たに業務を開始する運びとなりました。県を代表するお祭り「ねぶた祭」も通る国道4号線沿いという青森の中心地にある支店を建て替えることで、県内の住宅設備機器業界を代表する支店を目指します。

■青森×ホーロー壁装材「エマウォール」

支店の外壁はタカラスタンダード独自の素材「高品位ホーロー」でできています。「高品位ホーロー」は、丈夫な鉄のベースにガラス質を850℃の高温で焼き付けて作られる、丈夫さと美しさを融合させた優れた素材です。耐候性に優れているため、都市の厳しい環境にも耐え、完成時の美しさを保ち続けます。

また、支店の内部には同じくホーローでできた内装材「エマウォール インテリアタイプ」をふんだんに使用。

青森名産のりんご柄や八甲田山等の自然豊かな青森の風景を抽象的に描いたデザインを階段室に採用したほか、独自のホーローインクジェット印刷の技術が実現した本物のジャングルのような個性的なデザインのトイレも。

ご来社の皆さまに当社独自の「高品位ホーロー」を体感していただくとともに、オフィスなどでの使用をイメージしていただくことができます。



(ジャングルをデザインしたトイレの壁面)

■フリーアドレス制を導入

事務スペースでは、外勤者に固定の席を設けないフリーアドレス制を導入。現在、外勤者には全社的に直行直帰を推奨していますが、場所を選ばず業務をできるよう、今後もさまざまな働き方改革を推進していきます。さらに、WEB会議ができるスペースや自席から離れて業務に集中するためのスペースを設けるなど、社員が自由な働き方を選べる事務所レイアウトです。

■セミナールームは得意先の方のワーキングスペースとしても利用可能

また、併設するショールーム内にセミナールームを設置しました。広いスペースなので展示会などで活用できるだけでなく、流通店さまや工務店さまなどとコラボレーションし、イベントや研修会を実施することができます。地域密着型の営業活動をより推進していくスペースです。さらに、Wi-fiなどの設備を整えているので、イベントがない際は、得意先の方などにワーキングスペースとしてもご利用いただけるスペースとなっています。

タカラスタンダード青森支店は、これからも当社製品をより多くのお客さまに知っていただく拠点となっていくだけでなく、青森県内全体の住宅設備機器業界を盛り上げる起爆剤となるよう、さらなる売上拡大に努めてまいります。

<<参考資料>>

■青森支店詳細

支店長：菅原英明（すがわらひであき）

所在地：〒030-0822 青森県青森市中央1丁目23-1

TEL：017-776-1121 FAX：017-776-3499

延べ床面積：577坪 総工費：約5億円

対象エリア：青森県内全域 業務開始日：2021年3月27日（土）

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業108年） / 売上高（連結）2,015億円（2019年度） / 従業員数（連結）6,214名]